

遼東還付

列島ノ主權并ニ其地方ニアル城壘等ヲ永遠日本國ニ割與ス清國ハ軍費賠償金トシテ貳億兩ヲ日本ニ支拂フ清國ハ本約ノ規定ヲ誠實ニ施行スヘキ擔保トシテ日本國軍隊ノ一時山東省威海衛ヲ占領スルコトヲ承諾ス云々是ヨリ先キ露獨佛三國政府ハ日本ニ勸告シテ遼東半島永久領有ハ東洋將來ノ平和ニ障礙アリ宜シク之ヲ清國ニ還付スベシト云フ是ニ於テ日本遂ニ遼東半島ヲ我ニ還付ス因テ之ニ報スルニ三千萬兩ヲ以テシテ戦争ノ局ヲ結ヘリ

不幸中ノ幸

此役ヤ日本軍規整齊器械精銳其勇武殆ト當ルヘカラス連戰連勝シテ我大國ヲ以テ終ニ割讓償金ノ辱ヲ取ル蓋シ彼レ古來尙武ノ風ニ加フルニ能ク歐米諸國ノ文化ヲ學ビ其所長ヲ取リ銳意弊政ヲ改メ人民ヲ開明ニ導ケルノ結果ニ外ナラス是ヲ以テ我頑固黨大ニ悟ル所アリ爾來自尊ノ風ヲ破リ漸ク文明ノ利器

遺露大使

清朝ノ盛時

ヲ採用セントス他日ノ富强期シテ待ツヘシ是レ不幸中ノ幸ト謂フヘシ六月祐庚ヲ全權公使トシテ日本東京ニ駐紮セシム光緒二十二年二月李鴻章ヲ遺露大使トシテ露國ニ遣ハシ露國皇帝戴冠式ニ列セシム之ヲ要スルニ清朝ノ最モ隆盛ナリシハ聖祖(康熙)世宗(雍正)高宗(乾隆)ノ三世百三十餘年間ニシテ聖祖ハ豪邁仁厚ニシテ博覽強記軍藉ニ涉獵シ淵鑑類函康熙字典佩文韻府等ノ大著述此時ニ成ル世宗ハ聰明英毅亦學術ニ邃シ然レモ在位十三年ニ過キズ高宗ハ雄材大略アリ學識淵博ニシテ大清一統志大清會典皇朝通志三禮義疏等ノ如キ此時ニ成レリ仁宗以後ニ至リ漸ク衰フト云フ

正誤表

頁數	三	五	十一	十二	十六	二十一	三十八	四十四	五十八	六十五	六十六	六十八	八十四	八十七	同
行數	十三	世系	四	八	一	九	九	一	二	九	二	六	四	六	九
誤	○思テ焦シ	○祖辛	諸侯	郡	大司寇	以テ上卿	季斯	朝廷	樊劫ス	武帝劉淵	劉王劉淵	什翼健立チ	侍中僕射	將ヲ遣ハシ	トス、虚器
正	○思テ焦シ	○祖辛	諸侯	郡	大司寇	以テ上卿	季斯	朝廷	樊劫ス	武帝劉淵	漢王劉淵	什翼健立チ	侍中僕射	將ヲ遣ハシ	トス、帝虚器
頁數	八十九	百	百	百	百	同	同	百	百	百	百	百	百	百	百
行數	十二	九	十二	十二	十二	十二	十二	世系	十二	世系	四	世系	三	五	三
誤	○當時	○名ヲ...	唐王自ヲ	契丹王	晋王石敬瑭	晋王ヲ	晋王石敬瑭	逆ハ...	僖王子	每ニ...	善類ヲ...	知世疎	太祖親ヲ	齊陽	砲兵ヲ凡ソ
正	○當時	○名ヲ...	唐王自ヲ	契丹主	晋主石敬瑭	晋主ヲ	晋主石敬瑭	逆ハ...	僖王子	每ニ...	善類ヲ...	和世疎	太祖親ヲ	濟陽	ヲハ衍字

新選支那小史 大尾

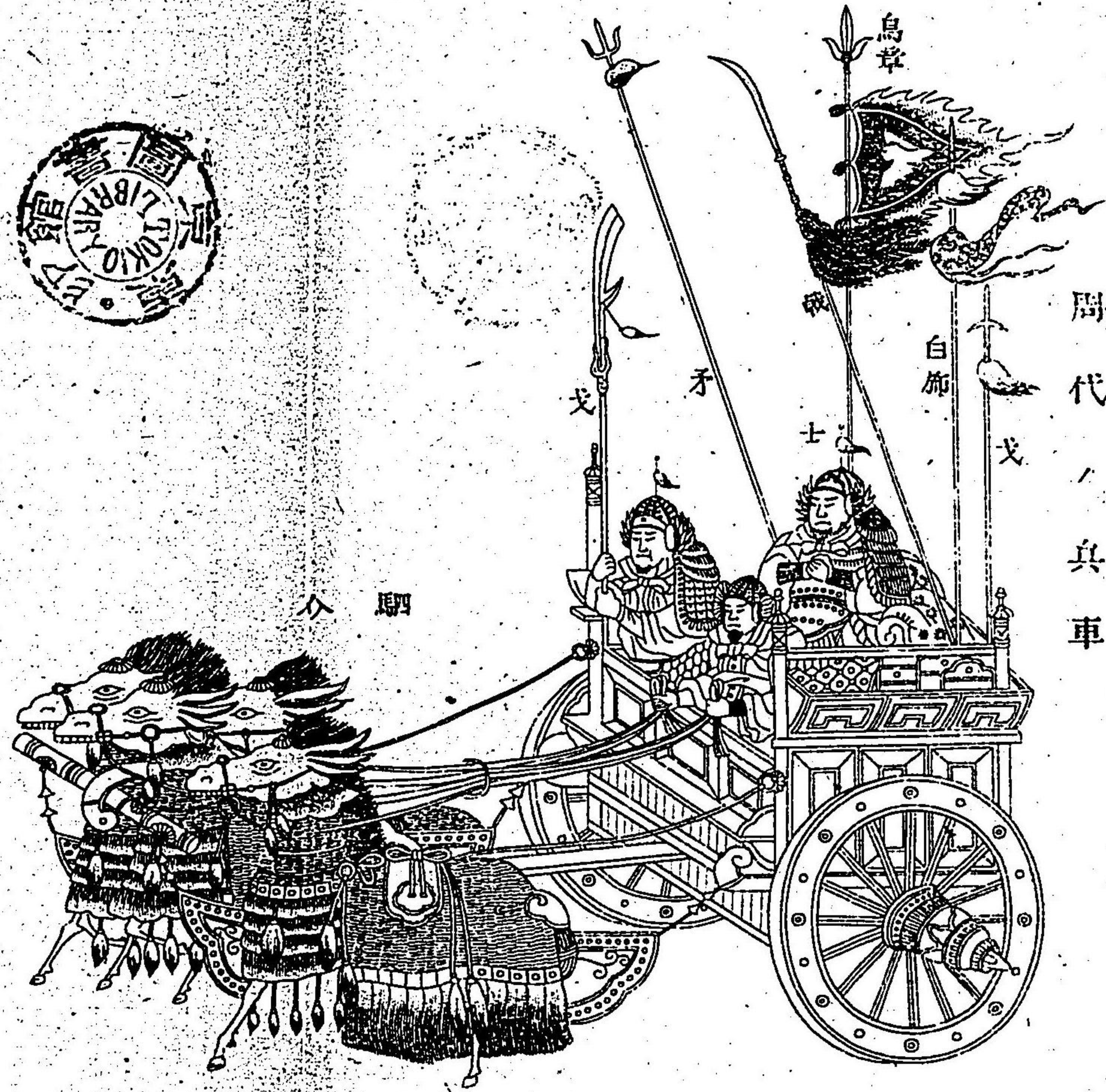
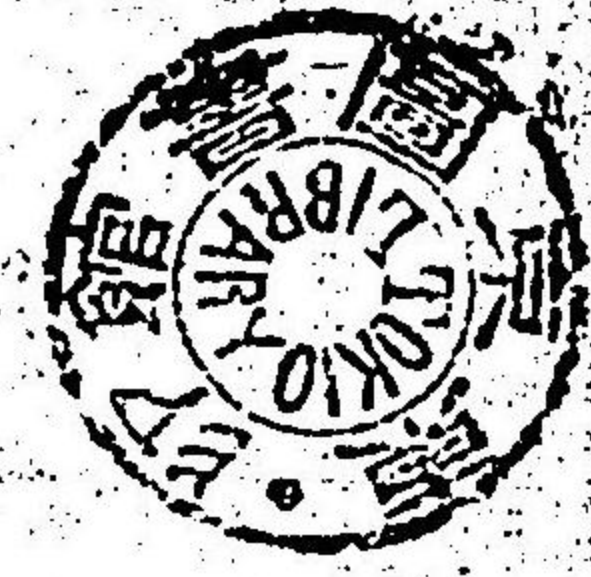
新選支那小史 大尾  
 卷之八 十六世紀 蒙古の侵入と元朝の成立  
 一、成吉思汗の統一  
 二、元朝の成立  
 三、元朝の政治  
 四、元朝の文化  
 五、元朝の海外交通  
 六、元朝の滅亡  
 七、元朝の歴史的地位  
 八、元朝の歴史的影響  
 九、元朝の歴史の教訓  
 十、元朝の歴史の意義  
 十一、元朝の歴史の地位  
 十二、元朝の歴史的影響  
 十三、元朝の歴史の教訓  
 十四、元朝の歴史の意義  
 十五、元朝の歴史の地位  
 十六、元朝の歴史的影響  
 十七、元朝の歴史の教訓  
 十八、元朝の歴史の意義  
 十九、元朝の歴史の地位  
 二十、元朝の歴史的影響  
 二十一、元朝の歴史の教訓  
 二十二、元朝の歴史の意義  
 二十三、元朝の歴史の地位  
 二十四、元朝の歴史的影響  
 二十五、元朝の歴史の教訓  
 二十六、元朝の歴史の意義  
 二十七、元朝の歴史の地位  
 二十八、元朝の歴史的影響  
 二十九、元朝の歴史の教訓  
 三十、元朝の歴史の意義  
 三十一、元朝の歴史の地位  
 三十二、元朝の歴史的影響  
 三十三、元朝の歴史の教訓  
 三十四、元朝の歴史の意義  
 三十五、元朝の歴史の地位  
 三十六、元朝の歴史的影響  
 三十七、元朝の歴史の教訓  
 三十八、元朝の歴史の意義  
 三十九、元朝の歴史の地位  
 四十、元朝の歴史的影響  
 四十一、元朝の歴史の教訓  
 四十二、元朝の歴史の意義  
 四十三、元朝の歴史の地位  
 四十四、元朝の歴史的影響  
 四十五、元朝の歴史の教訓  
 四十六、元朝の歴史の意義  
 四十七、元朝の歴史の地位  
 四十八、元朝の歴史的影響  
 四十九、元朝の歴史の教訓  
 五十、元朝の歴史の意義

制ノ田井周

同	同	私百畝
同	公田 私百畝	同
同	私百畝	同

圖ノ甸子即丘四

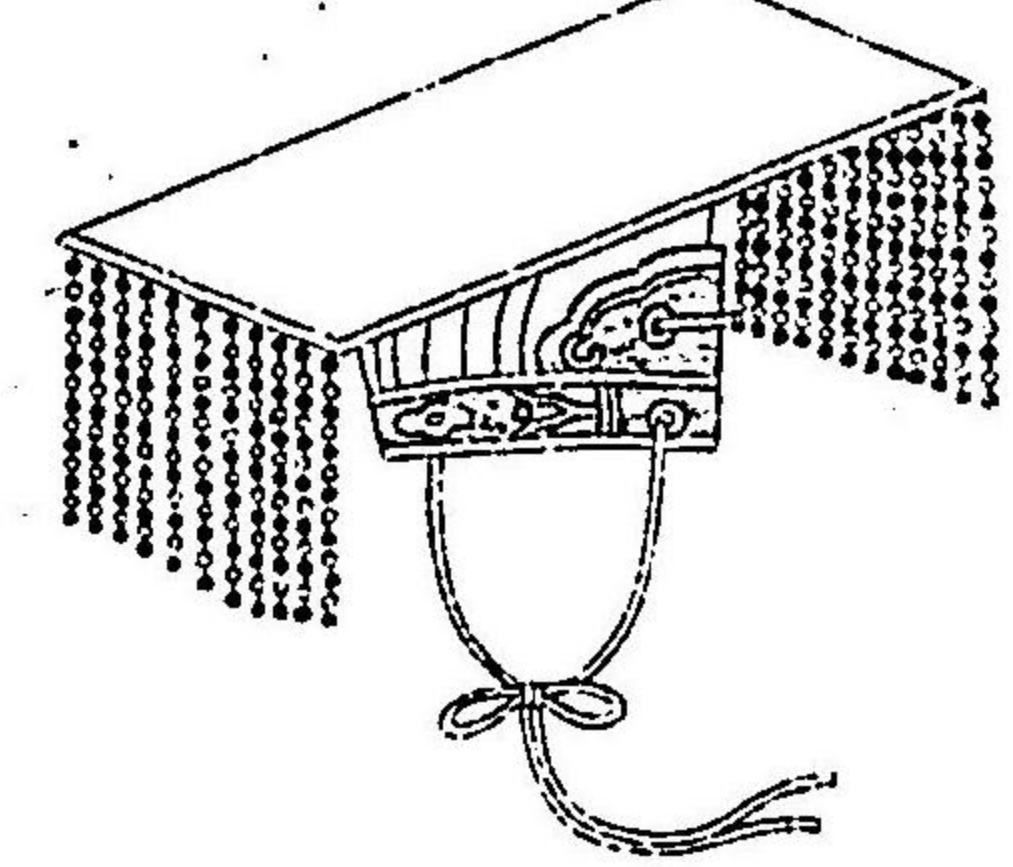
邑	邑	邑	井 邑 井
邑	邑	邑	邑
邑	邑	邑	邑
邑	邑	邑	邑



周代ノ兵車

周時ノ戦争ニハ多ク兵車ヲ用フ兵車一乘衆ハ兩ニ同シニ甲士三人乗リ左ハ弓ヲ用ヒ右ハ戈ヲ取リ中ハ御ヲ至トル歩卒二十四人ツ、前ト左右ニ列ス共ニ七十二人又大車一兩其後ニソヒテ衣服服用ヲ載セ役夫二十五人之ニツク総ヘテ百人ナリ大凡六十井(四井ヲ邑トシ四邑ヲ丘トシ四丘即チ六十四井ヲ甸トシ甸ノ地ヨリ兵車一乘ヲ出スノ制故ニ當時國ノ大小ヲ称スルニ百乘ノ國千乘ノ國ト云フ即チ兵車百乘又ハ千乘ヲ出シ得ル土地ヲ有スル國ナリ上圖ヲ参考シテ其制ヲ知ルヘシ又本文職國泰ノ孝公商鞅ヲ用ヒテ井田ヲ廢スルノ條ニ井田ノ制ヲ掲ケタレハ此圖ヲ参看スヘシ

冕之代周



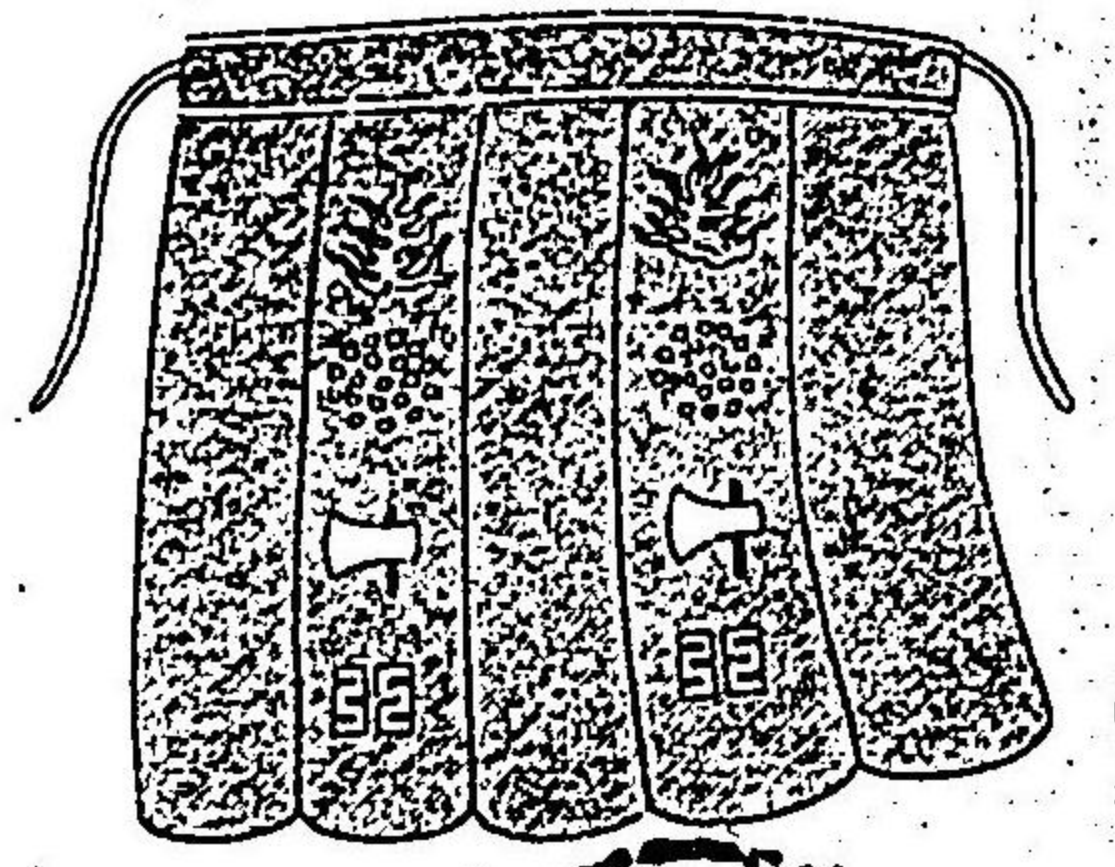
冕ハ禮冠(祭祀ニ用フ)ナリ種類甚々多シ五帝以來之ヲ用ヒタレト周ニ至リテ大ニ備ハルト云フ蓋シ其裝飾形狀頗ル壯麗トナル故ニ孔子モ周ノ冕ヲ服ストテ之ヲ取レリ其殺ニ旒アリ天子ヨリ三公以下ニ至ルマテ旒ノ數ニ差等アリテ之ヲ別ツ周以後世々之ヲ用ヒタリ

衣 袞

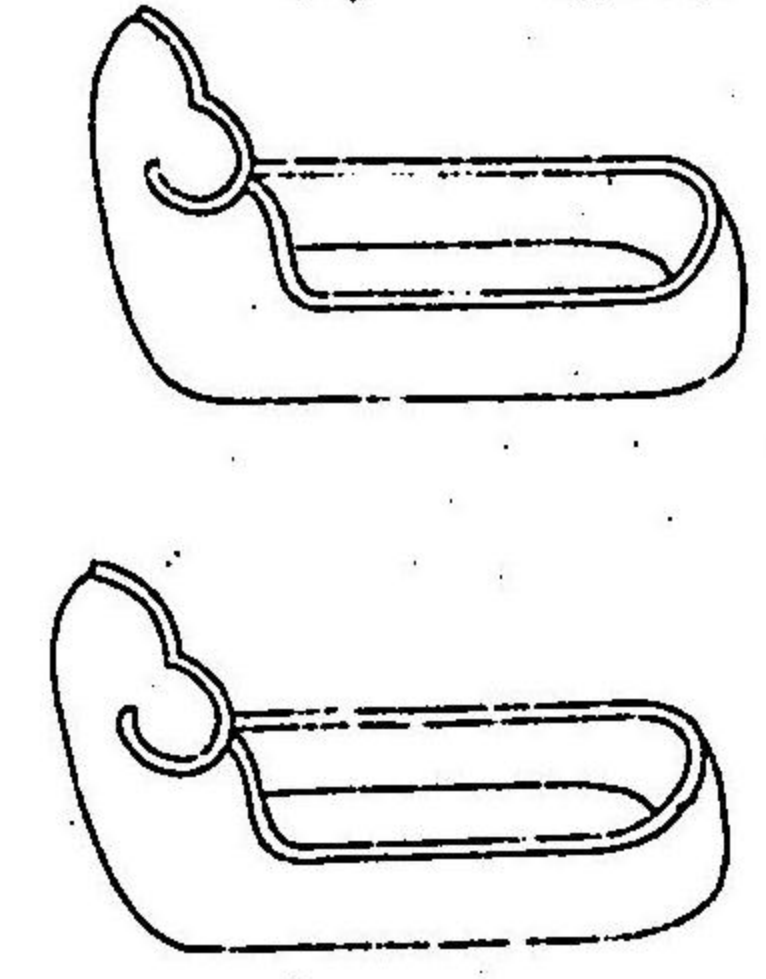


袞衣(繡裳)皆周以來ノ禮服ナリ(周以前モ之ニ類セシモノナラン)其文九章アリ一ハ龍ニハ山三ハ華蟲即チ雉四ハ火五ハ宗彘宗廟ノ祭ニ用フル樽ノ名ナリコレニ虎ト雉ノ文アリ雌ハ猿ノ類ナリ以上五章ハ衣ニ繪カク六ハ藻(即チ藻草ナリ)七ニ粉米(白キ米ナリ)八ハ黼(斧ノ及ナリ)九ハ黻(相背キタル兩巳字ノ文ナリ)以上四章ハ裳ニ繡ニセリ故ニ繡裳ト云フ此九章ハ天子ノ服ナリ三公以下各省略アリト云凡文ニモ諸說紛々タルカ如シ今其大略ヲ圖ス

裳 緇

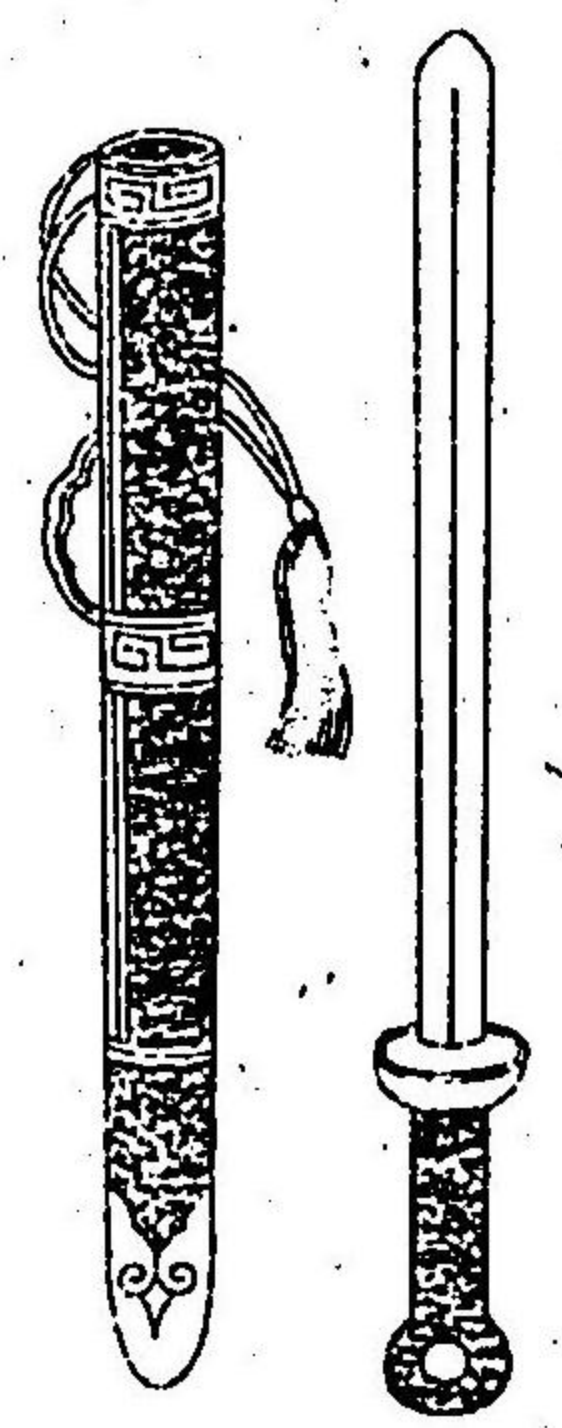


舄 赤



赤舄ハ禮服ノ履ナリ色ニハ赤白黒ノ差アリ重底ナルヲ舄ト名ツケ單底ナルヲ屐ト名ツケ

劍

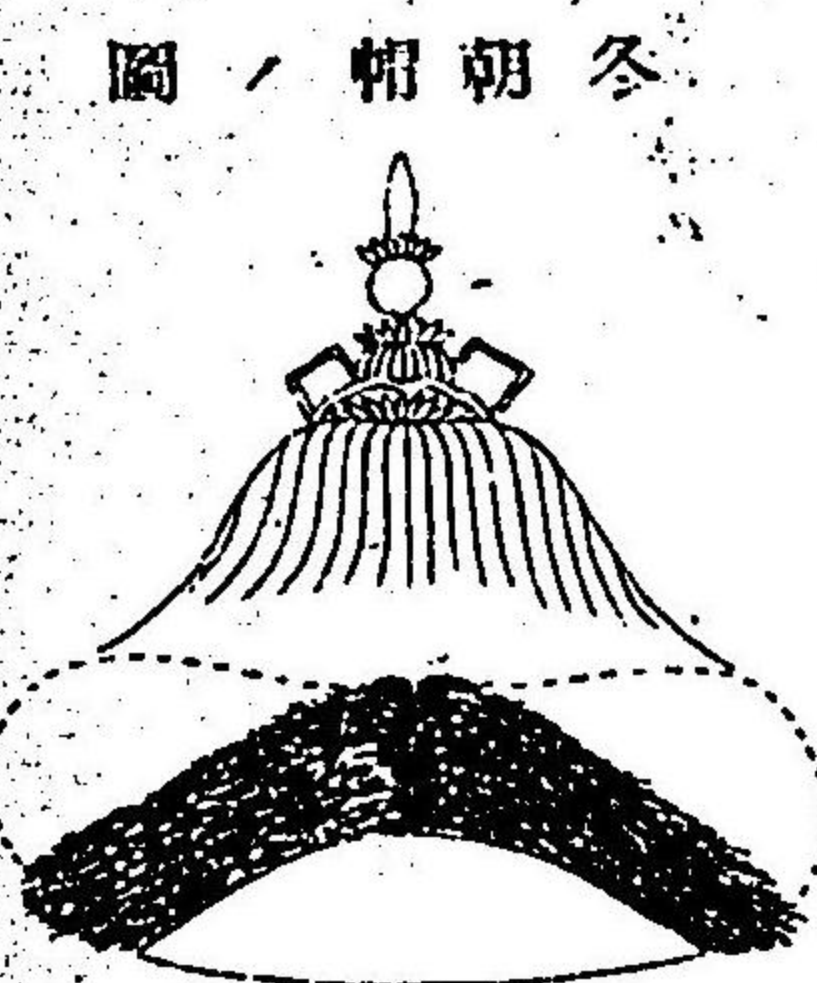


劍ノ制ハ古今大差ガシ亦周ニ至リ裝飾大ニ備レルナラン

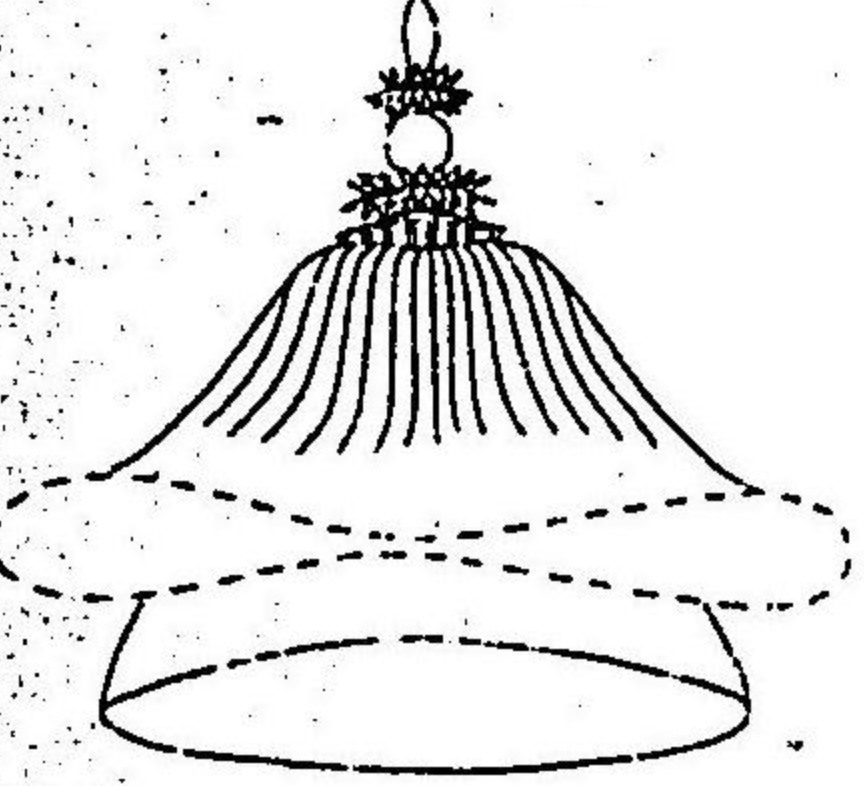
清朝衣冠及ヒ轎子ノ圖



文武官眞ノ朝服ニシテ多クハ藍色ヲ用フ其大  
帶ノ裝飾ニ金銀玉寶石等ノ區別アリ以テ位階  
ノ差等ヲ表ス



圖ノ朝朝夏

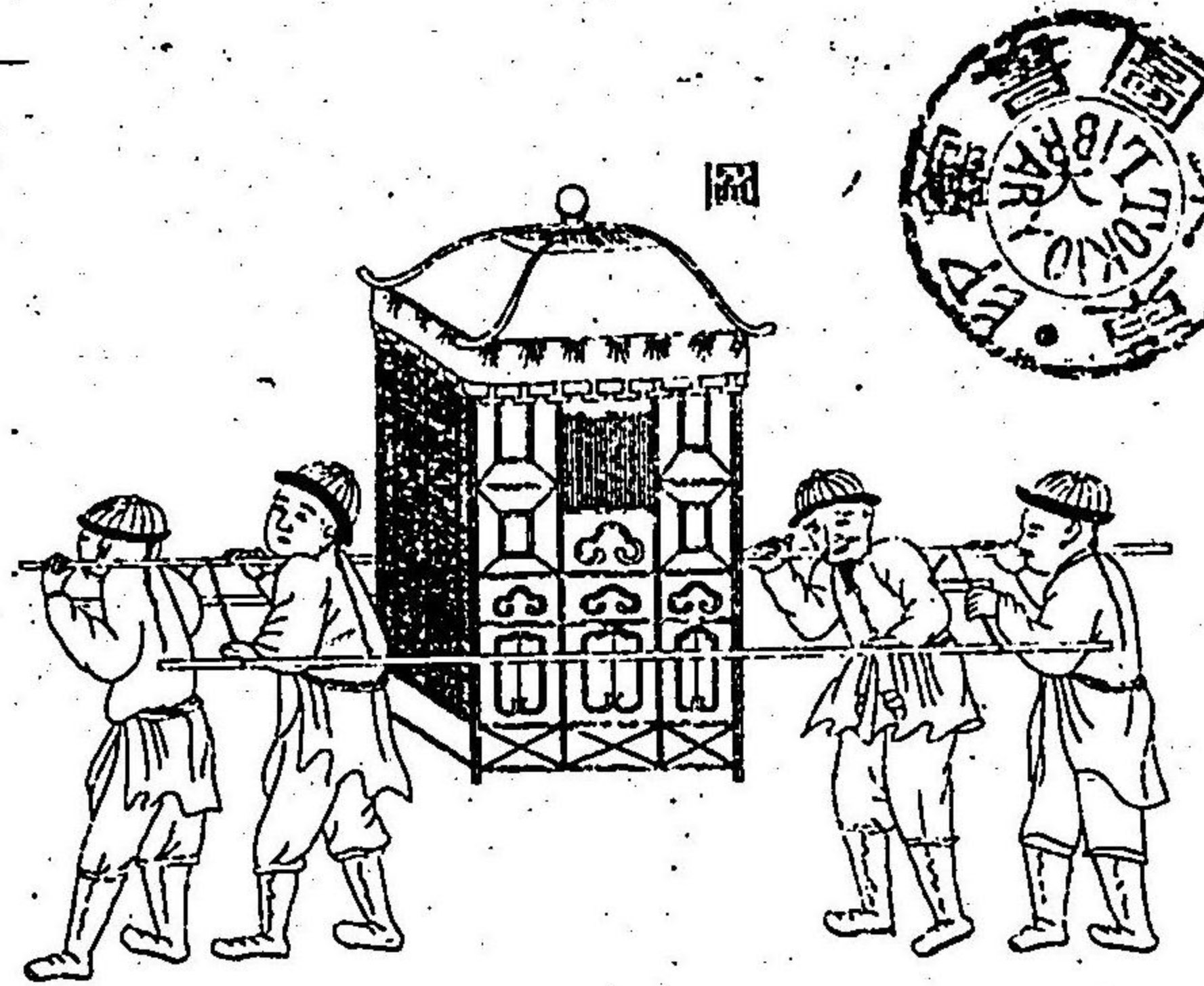


文武官冬夏ノ帽ニシテ其帽頂ノ飾ニヨリ  
テ上下ノ別アリ上等ハ文武共ニ紅寶石中  
嵌真珠ヲ用ヒ次ハ花珊瑚中嵌紅寶石等ノ  
別アリ



圖ノ鞋子

常ニ之ヲ用テ禮服ノ時モ同一ニシテ異ナ  
ルナシ



圖

大轎ハ兼物ナリ高六尺濶三尺奥行三尺五寸又小轎ト云フ  
セノアリ高五尺五寸濶二尺五寸奥行三尺儀式ノ節尤モ之  
ヲ用フ

明治廿九年九月十五日印刷  
同 年九月二十日發行


定價金五十五錢

著者 關藤成緒

大阪市東區備後町四丁目

發行者 石井鈎三郎

同 市東區南本町四丁目五十番屋敷

同 森本專 

同 市東區高麗橋貳丁目六十七番屋敷

印刷者 龍雲舍赤川孫兵衛

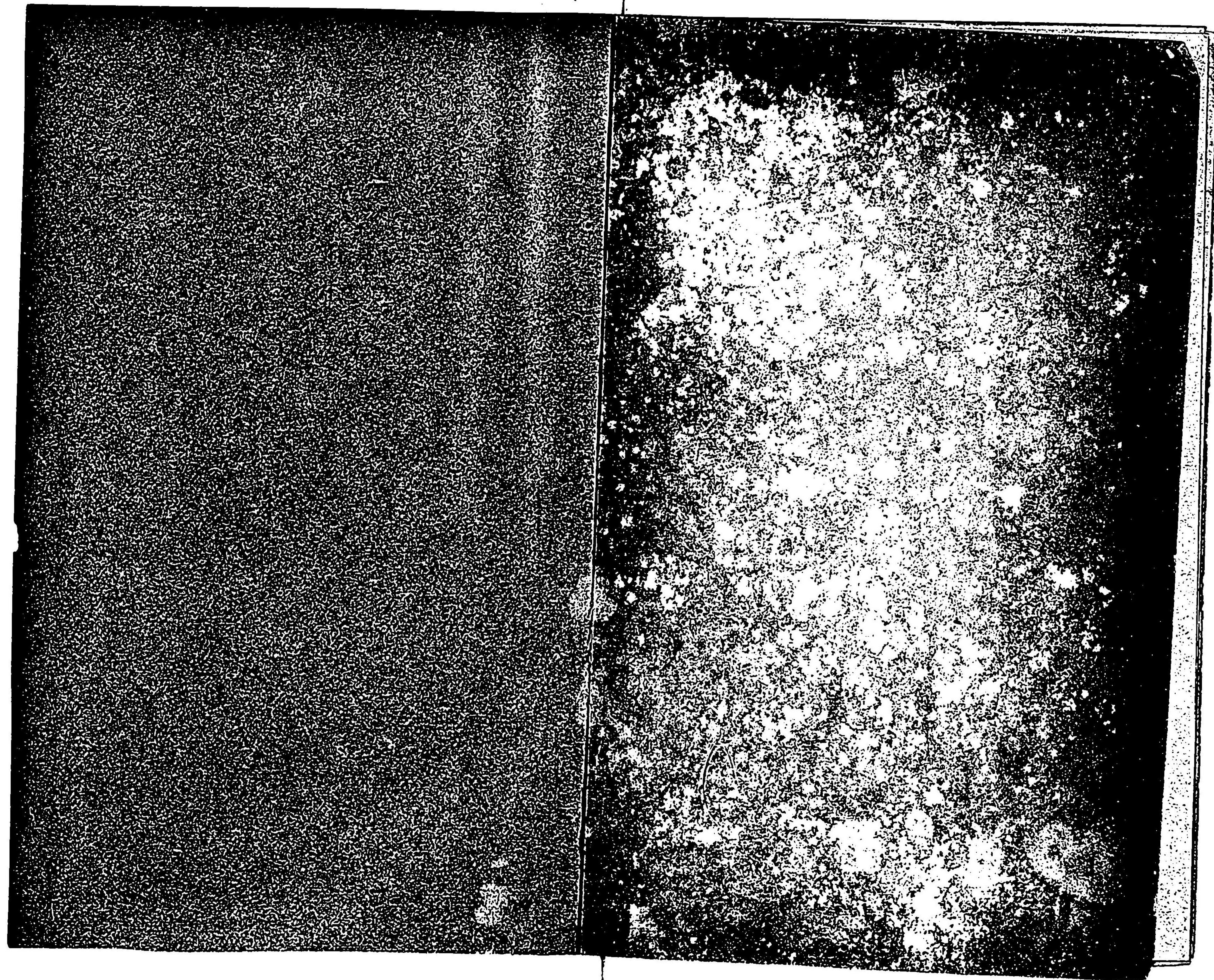
同 市南區心齋橋筋壹丁目六十七番屋敷

賣捌所 松村九兵衛 

東京市京橋區南傳馬町壹丁目

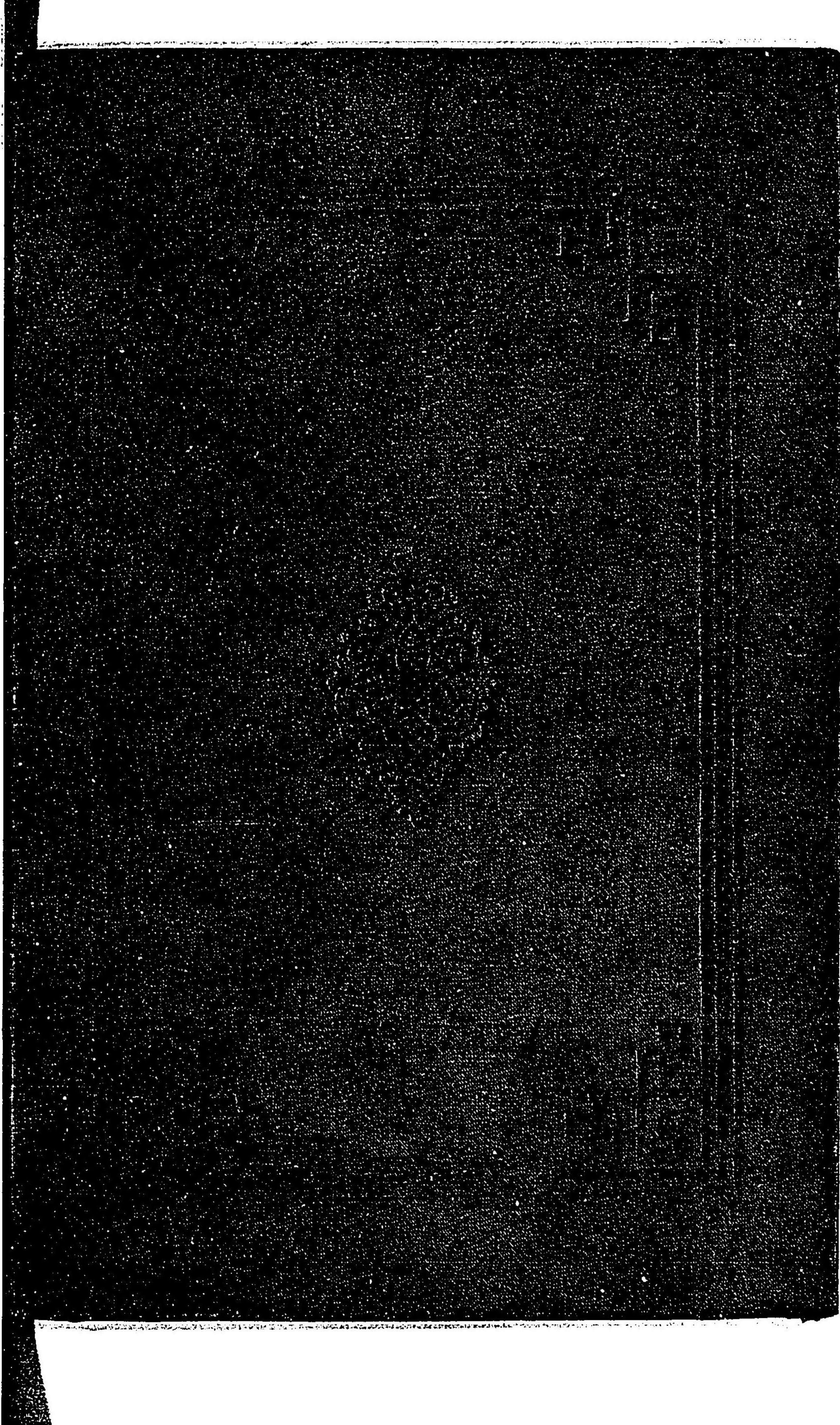
同 吉川半七

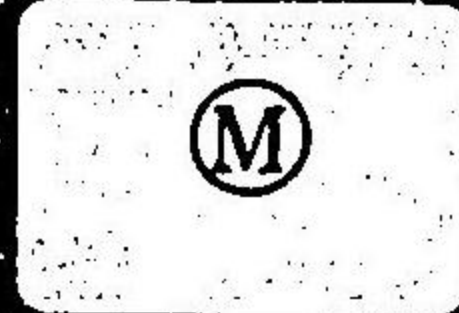
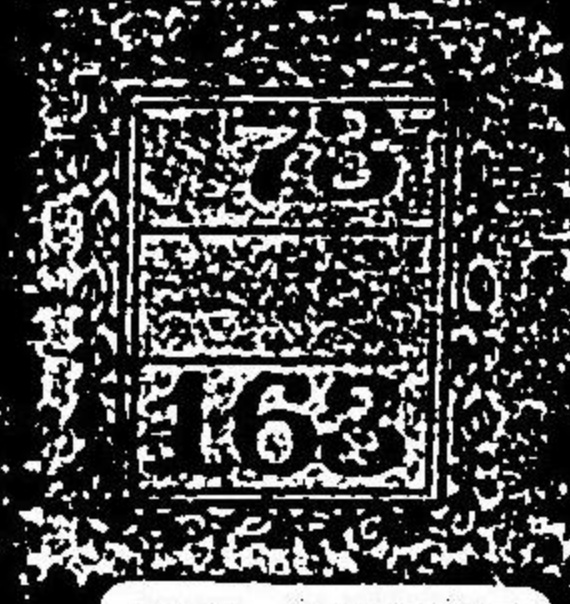
版權  
所有



173  
163







003232-000-4

73-163

新撰支那小史

関藤 成緒 / 著

M29

ACC-1515



